

令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査 質問紙の項目

内容			小4	小5	小6	中1	中2	中3	項目ごとの分析
○けじめのある生活ができる	①登校時刻	県	91.5	93.7	94.0	97.9	96.7	96.7	ほぼ県平均。経年変化を見ても90%以上を続けている。
		幸手市	93.5	93.2	93.0	96.4	98.2	97.3	
		H31	94.0	92.3	96.7	98.9	97.6	95.4	
		H30	87.8	97.0	96.0	99.1	97.5	95.6	
	②授業開始時刻	県	90.5	93.2	94.8	96.9	97.6	98.0	しっかりと意識化が図られている。
		幸手市	92.1	93.7	95.6	95.8	96.4	98.2	
		H31	94.5	93.4	96.1	99.2	97.0	95.1	
		H30	90.7	97.0	95.8	98.2	98.0	97.7	
	③靴そろえ	県	83.3	83.6	86.8	89.9	91.0	92.5	しっかりと意識化が図られている。
		幸手市	86.2	84.7	87.0	87.7	91.3	89.7	
		H31	88.0	86.3	91.4	93.5	93.7	92.0	
		H30	81.1	88.4	92.3	93.2	92.4	94.8	
	④整理整頓	県	78.8	80.2	78.8	76.7	78.6	80.5	県平均を下回る学年がある。また、80%を下回る学年もある。
		幸手市	83.0	82.7	78.4	78.2	78.3	85.8	
		H31	87.2	84.2	87.5	89.5	88.6	88.2	
		H30	79.0	90.1	89.2	89.1	89.8	88.9	
○礼儀正しく人と接することができる	⑤あいさつ	県	78.5	78.2	78.0	82.8	82.6	84.2	県平均を下回る学年がある。また、80%を下回る学年もある。
		幸手市	84.2	82.2	77.1	77.6	85.8	81.0	
		H31	83.2	79.9	85.3	88.4	82.6	78.4	
		H30	77.1	84.6	82.5	84.1	80.2	82.1	
	⑥返事	県	87.5	87.9	86.4	87.8	87.4	89.6	しっかりと意識化が図られている。
		幸手市	90.9	89.7	87.0	84.3	89.2	85.2	
		H31	92.0	84.7	88.9	92.7	86.2	87.4	
		H30	84.0	91.5	89.9	87.9	85.6	89.4	
	⑦ていねいな言葉づかい	県	86.0	86.7	88.0	90.4	91.2	93.7	中学校でのていねいな言葉づかいが課題である。
		幸手市	88.9	89.7	88.6	88.0	94.3	93.4	
		H31	87.7	85.2	90.6	94.4	85.9	88.8	
		H30	83.2	89.3	93.7	92.9	88.4	92.5	
	⑧やさしい言葉づかい	県	84.6	84.6	84.1	87.3	87.4	90.3	中学校でのやさしい言葉づかいが課題である。
		幸手市	91.5	85.9	84.7	82.4	88.6	89.7	
		H31	87.5	85.5	88.1	91.5	83.8	87.9	
		H30	77.7	88.7	88.6	88.8	85.3	89.6	
○約束やきまりを守ることができる	⑨学習準備	県	84.1	85.9	86.6	91.5	91.8	93.7	特に中学校において、学習の準備をすることに課題がある。
		幸手市	88.3	88.2	88.3	89.1	94.0	92.1	
		H31	89.0	87.6	92.5	94.9	90.1	86.5	
		H30	82.7	89.3	91.8	90.6	88.1	89.4	
	⑩話を聞き発表をする	県	76.4	76.0	72.7	76.1	73.8	76.7	昨年度に引き続き課題である。特に中学校でのポイントが低いので、授業改善とともに学級経営の見直しが必要である。
		幸手市	81.5	76.6	74.3	73.4	73.5	67.1	
		H31	80.7	78.4	78.4	77.1	65.6	69.5	
		H30	77.1	82.4	78.0	72.9	66.7	72.8	
	⑪集団の場での態度	県	83.5	83.7	83.9	92.1	93.2	95.5	特に中学校において、集団の場での態度について課題がある。
		幸手市	88.0	83.9	86.0	90.5	92.8	94.9	
		H31	86.7	82.8	90.3	95.2	91.0	93.7	
		H30	83.8	88.7	88.9	93.5	92.9	95.3	
	⑫掃除・美化活動	県	91.1	88.7	87.4	86.4	85.3	86.5	学年が上がるにつれ下がる傾向にある。掃除の意義を合わせて指導することが必要である。
		幸手市	94.1	89.2	85.5	79.3	89.5	82.8	
		H31	91.5	90.8	90.3	86.2	79.6	80.2	
		H30	89.6	91.5	90.2	80.8	82.5	86.3	

※ 表中の数字は、児童質問紙調査で児童生徒が「できる」「よくできる」「たいていできる」の合計と回答した割合（達成率）

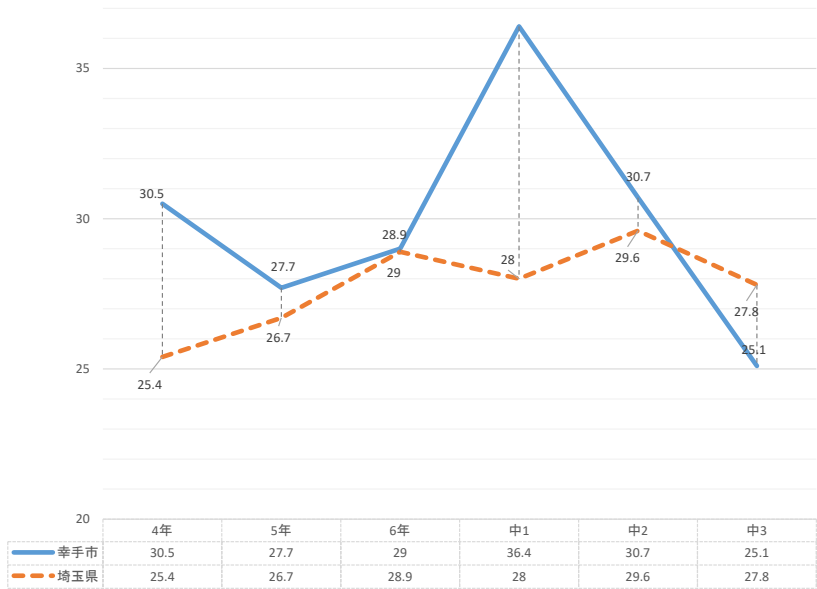
下線 …80%未満の所
…県平均を超えた所

全体的分析	※全体的には昨年度と同様の様子が見られる。 ・県では80%を基準としているが、幸手市ではほとんどの項目で平均が80%を越えている。 ・「授業で話を聞き発表をする」が一番の課題。 →この項目は、主体的対話的で深い学びに直結するものであり、授業改善と学級経営の充実という面から改善を図る必要がある。 →あわせて、学級経営に視点を当て、話しやすい雰囲気づくりも必要であると考える。
-------	---

質問紙から抜粋

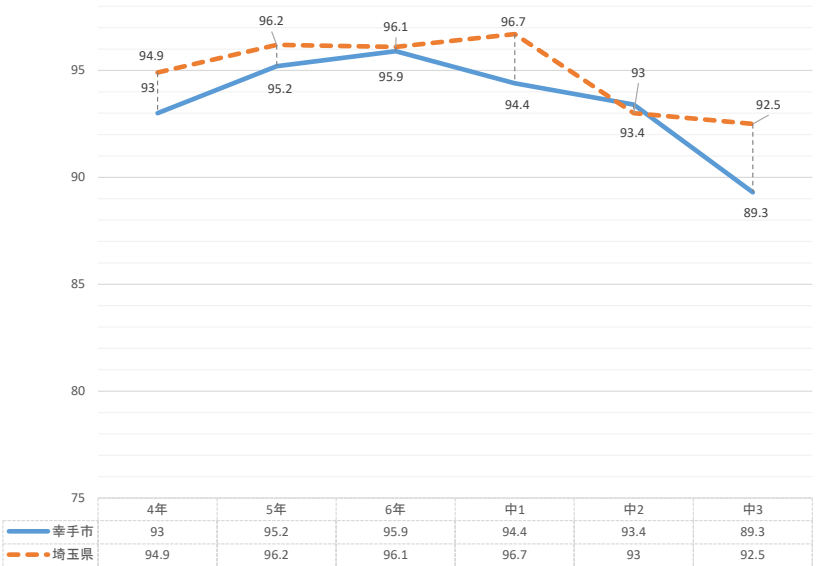
①

1日に3時間以上スマホゲーム、テレビゲームをしている割合 %



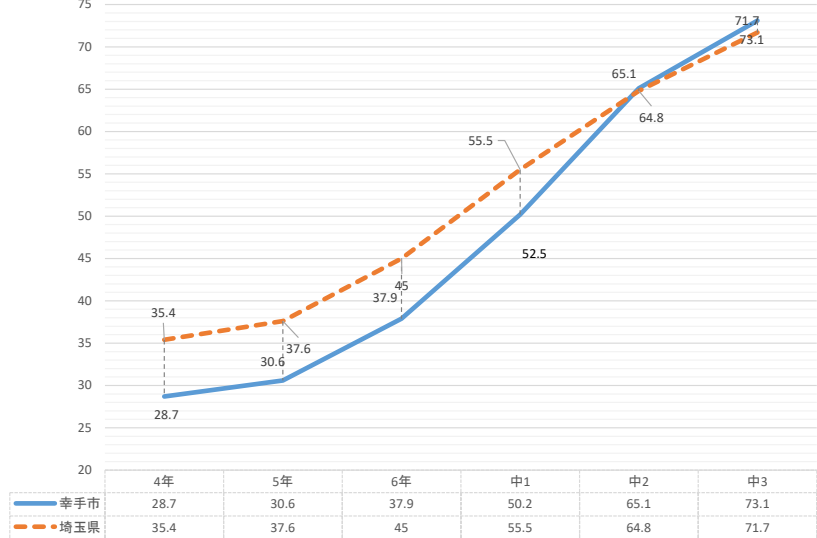
②

学校の宿題をしていますか？している・どちらかといえばしていると解答した割合 %



③

1か月に何冊本を読みますか？全く読まない・1～2冊と解答した割合 %



①～③それぞれについての考察

①について

中学校1年生で、スマホ等を使ってゲームをする時間が急増している。スマホ行動宣言を本気で取り組み、適切な活用を指導していく必要がある。

②について

学校の宿題を家で行っている割合は、全体的に県平均を下回る傾向がある。家庭学習の習慣を身に付けさせることや、教員が出した課題を見届けるための時間の確保等が重要である。

③について

中1を過ぎると県平均より高い割合で増えていることがわかる。部活動等も考えられるが、時間を読書に使わないことが考えられる。また、小学校段階において、1か月に本に全く触れなかったり、1、2冊というのは少ない。小学校段階からの家読等の取組の充実が必要である。